

公益社団法人私立大学情報教育協会

平成 25 年度第 1 回情報教育研究委員会情報リテラシー情報倫理分科会 議事記録

I. 日 時：平成 25 年 7 月 5 日(金) 17:00~19:00

II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会、事務局会議室

III. 参加者：玉田主査、田村委員、和田委員、中西委員(Skype)、本村委員(Skype)

事務局：井端事務局長、森下主幹、野本

IV. 検討事項

1. 今年度の活動方針について

- ・ 2012 年度版ガイドラインの振り返りから到達度評価の内容・方法までを開始したい。
- ・ ガイドラインの内容はアンケートを行い、見直しを含めて年次的に研究する。
- ・ ガイドラインの評価が固まったら到達度の評価はどのように行えばよいか、試験の仕方、知識は標準的なもの問題をつくれなから。大学にガイドラインをだして、各大学から問題を提出してもらい収集してランダムに試験できるようなことを 5 年先などの実現は検討できないか。

2. アンケート作成の説明

- ・ アンケートの前文にガイドラインこうさつの趣旨を要約する。
- ・ 到達目標、到達度、到達度の測定方法について、賛否と追加すべき内容、充分でない内容の意見を伺う。
- ・ 大学として情報リテラシー教育の位置づけをどのように考えるべきか意見を伺う。
- ・ 賛否の理由、内容など求めるために、例示をだせないか検討された。下記の意見があり、記述欄に例えばとして掲載することにした。

「既に取り組んでいる」「計画しようと考えている」「必要と思うが、教えられる教員がない」「学部・学科として必要としていない」「スキルを持つ担当教員が不足」「学生のレベルが達していない」「カリキュラムに充実した内容を取り込む時間的な余裕がない」「適切な教材がない」

- ・ このガイドラインの設計にあたっての背景として、高校の共通教科情報の「社会と情報」および「情報の科学」で学ぶ内容を大学でさらに深めることを考えた、といったことを追記してはどうでしょうかとして、到達目標 1 の前に説明を入れることにした。
- ・ 到達度は 1, 2, 3 それぞれの賛否をとってはどうか。
- ・ アンケートの送付先は大学宛で、大学と取りまとめてもらい 5 名以上の教員へ依頼してもらうことにした。Web での回答も検討したが取りまとめることを考えてメール(ワードフォーマット)、FAX、郵送の返信のお願いにする。
- ・ 項目にリテラシーを担当しているか、設問を追加することにした。

V. 今後の予定について

- ・ メールで継続してアンケート内容の検討をし、8 月に実施することにした。(後日、メーリングリストの検討で例示の文章などを変更して 8 月末締切でアンケートを実施した)
- ・ 次回の分科会は 10 月 11 日に開催し、アンケートの意見を検討することにした。